

## (2) 詰め替え製品について

ゼミの学生と、グリーンコンシューマーについて話す機会があった。

「ところで、詰め替えシャンプーとか、使っている人は何人くらいいるのかな」、驚いたことに6割くらいの学生が手を上げた。

「シャンプーは、どのくらいの頻度でつめかえたりするの」、「私のうちは家族3人ですが月に1回くらいかな」と女子学生Aさん。「それじゃ、1年間に10数本もプラスチック容器を捨てずにすんでいるんだ。ところで詰め替え用のシャンプーの価格は安いと思いますか」、「いや値段のことは余り考えていないけど安いんじゃないかな」と男子学生B君。「だけど、もし詰め替え用のシャンプーがもっと安くなれば、利用はもっと増えるだろうね、だからプラスチック容器に税金をかければいいんだよ」とC君。より多くの人を買って、詰め替え製品の販売量が増えれば、販売店も詰め替え製品の仕入れを増やし、規模の経済が作用して価格が下がると思うけど、どうだろうか」、「若い人が使うシャンプーには、詰め替え製品がないものも多いけれど、もっと若者向きの詰め替え製品が増えれば、需要はもっと増えると思います」とAさん。

「しかし、詰め替え用の包装材も安全にリサイクルできるのかちょっと心配です。また、詰め替えって、もっと進めばガソリンや灯油と同じように、消費者が販売店に容器をもって行って、タンクから自分で洗剤を入れるというようになるかもしれないが、そこまで行くと詰め替えは生産者の仕事のような気がするね」とB君。「ほんと、シャンプーを作っている人たちは自分で詰め替えをやっているのかな」、「もしやっているのなら、容器を生産者が回収して、再利用するという方法をきっと考えるだろうな」、「だけど、再利用は品質管理ができる容器を開発するか、回収した容器のリサイクルについて考えるだろうけど」と議論が続く。

そして、「そんな企業だったら、ぜひ就職したいね」、「そうだそうだ、就職試験では学生がいろいろ質問されるけど、学生が企業にいろいろ質問して企業を選ぶようになれば、グリーンコンシューマー運動も進むかもしれないね」。

以上